

2007/03/02

経済産業省「平成 18 年度環境政策研修」にて当社代表小松が講師を務めました

現在、地球温暖化や廃棄物・リサイクル等のさまざまな環境問題に直面しており、今後の行政における環境政策や民間企業の環境活動においては、より専門性が問われるようになってきております。

経済産業省主催「環境政策研修」は、行政における環境政策や民間企業における環境への取組み等を受講することで環境分野における専門性を深めるとともに、グループ研究での意見交換等で官民の連携を深めるといった趣旨のもと実施され、2月28日(水)～3月2日(金)の3日間にわたり当社取締役羽山を含め、計62名が受講いたしました。

最終日の3月2日(金)(10:40～11:40)、「企業の廃棄物マネジメントにおける実態と課題」というテーマのもと当社代表小松が講師を務めました。

**廃棄物処理(業界)の課題 ～4つのテーマ～**

- 排出事業者側の課題
- 処理業者側の課題
- 地域特性や行政の課題
- リサイクルに関する課題
- 講義より

**排出事業者側の問題点: 総論**

**排出事業者側の課題**

**【廃棄物処理に関する知識不足】**

- ・排出者責任を認識していない。
- ・処理費は安ければいいと考えている。(ダンプの横行 安すぎるのが違法になることを知らない)

**【リテラシーが低い】**

- ・違法と知らずに廃棄してしまう
- ・業務効率上、違法と知りつつ改善できない

業者まかせになっており、自社の廃棄物(排出)状況を把握できていない企業がほとんど

許可業者であれば安心であると考えており、特にチェックもないまま価格のみで業者を選んでいる

**廃棄物にかかわるリスク認識が甘い!**

内部統制やコンプライアンスが叫ばれる時代背景の中で、廃棄物におけるリスク認識はまだ浸透していない

実行者	平成17年度		平成16年度	
	投案件数	投棄量(t)	投案件数	投棄量(t)
排出事業者	228	26,635	290	32,289
無許可業者	85	82,833	65	86,727
許可業者	52	29,017	43	244,887
複 数	7	9,180	13	5,620
不 明	186	24,514	262	41,302
合 計	558	172,179	673	410,825

環境省資料「産業廃棄物の不法投棄等の状況(H17年度)」より